たしかめる 心のゆとり 春の道

春の全国交通安全運動（4月6日～15日）

「たしかめる　心のゆとり　春の道」をスローガンに、今年も「春の全国交通安全運動」が、四月六日から十五日まで展開されます。

今年の運動の重点は、①歩行者、特に子供と老人の交通事故防止②自転車および原動機付自転車の安全利用の促進③安全運転の確保。特に交通三悪・飲酒運転・速度違反・一時不停止）の一掃④暴走族の追放――の四点。

春は、新学期、入園・入学を迎える季節。特に子供の事故防止を中心に運動を進めます。通園通学路の交通安全施設の点検・整備、交通安全教室の開催、通園通学路での街頭指導などを行います。

お年寄りについても、老人クラブなどの集会を利用し、交通安全の指導に努めます。

利用者が増えている自転車、原動機付自転車については、安全で正しい利用を指導するとともに、自転車通路の点検、整備を行います。

一方、ドライバー側には、交通三悪の一掃をめざし、指導取締まりを強化し、安全運転を呼びかけます。

最近問題になっている暴走、交通安全のために民間の立場で、活動を実践しています。

隊員の顔ぶれは会社員、自営業者と、幅広く、職業を持ちながらも実質的にボランティアとして、地域に根ざした運動を展開しています。

隊全体、そして隊員個人の立場での活動はいずれも意欲的で、その果たす役割が今後も期待されています。

交通指導隊が活躍

この運動期間中、交通指導隊も活躍します。

交通指導隊は現在各警察署管内に一隊ずつ計五隊あり、その隊員も五十八人。

昭和四十三年に結成されて以来、交通安全運動期間中の交通指導やにいがた祭り・成人式の交通整理を行うなど、交通安全のために民間の立場で、活動を実践しています。

隊員の顔ぶれは会社員、自営業者と、幅広く、職業を持ちながらも実質的にボランティアとして、地域に根ざした運動を展開しています。

隊全体、そして隊員個人の立場での活動はいずれも意欲的で、その果たす役割が今後も期待されています。

「第三次市交通安全計画」決まる　年齢に応じた交通安全教育などを盛る

新潟市の昭和五十六年度から六年度までの総合的な交通安全対策をまとめた「第三次新潟市交通安全計画」が、さる三月二十三日、市交通安全対策会議で決定されました。

市では、国の交通安全対策基本法に基づき、今までに第一次（昭和四十六年度～五十年度）、第二次（五十一年度～五十五年度）を策定、実施してきました。その結果、交通事故は、四十六年は死者が五十一人、傷者四千二百二十七人でしたが、五十五年には、二十九人、千九百三十一人と、大幅に減少しました。

しかし、依然として交通事故は大きな社会問題になっています。

「第三次計画」では従来通り、交通安全施設の整備、地域の自主的な交通安全活動の推進、救急救助体制の整備などを盛り込んだほか、各年齢に応じて、生涯にわたる交通安全教育の機会を確保し、交通安全の意識を高めることに力点を置いています。

また、暴走族対策の強化も新たに加えられました。

踏切の安全通行に努めよう

○踏切では必ず一時停止し、安全を確かめ通行しましょう。

○警報機が鳴り出したら、もう危い。列車がすぐ来ます。

○踏切の先が混雑しているときは、前方に空きが出るまで踏切の手前で待ちましょう。

〈交通災害共済〉加入はお済みですか

おまわりさんを呼んで連れて行ってもらうぞ、と言って戦前はよく子供をおどしたものです。

近ごろは、言う事を聞かぬとお医者に注射してもらうぞ、と言う親がいます。

また、注射している患者のそばで、お前もしてもらえ、などと暗に子供をおどしている親も見かけます。親は冗談でも子供は本気で受け止めます。

こんな事で子供を注射恐怖症にしてはいけません。

予防注射会場では、何も悪い事をしないのに不当に注射されると思い、泣き、騒ぎ抵抗する子供がいます。

注射は検査のためのものもあります、病気を予防し治療を目的とするものだ、という事をよく言い聞かせておき、決しておどしや冗談で言ってはいけません。

本当に必要なとき、大きな障害となります。

近年は特に子供の治療にはなるべく注射をしないで必要最小限に止める風潮にあります。

必要な注射のとき、子供さんにも協力してもらうために、注射の正しい理由をよく教えておいてもらいたいものです。

（新潟市医師会）

子供と注射

なんでもみんなの広場

問　市街化区域内の新幹線側道（鳥屋野地区間八㌔）、道路両側）の通行止めに対し、鉄建公団いわく、「側道委員会の決定により、各市町村に有償譲渡のため、市が譲り受けするまでは、いつまでも現状通りであり、通行不可能」とのこと。新幹線開通となれば、お偉方は乗車され、万々歳かもしれぬが、沿線住民や三角土地所有者は騒音振動で悩まされるだけでしょうか。

新幹線工事のため設置したものであり、一部騒音等の緩衝地帯としての役割を果たしているものです。

現在側道用地は、同公団および同工事局の管理用地となっています。また、危険防止のため、一般車両の通行を禁止していますので、地域の皆様が利用できない状態となっていることはご指摘のとおりです。

市道としての供用見込みでございますが、その用地について、市は無償譲渡を強く申し入れていますが、同公団および同工事局は有償譲渡の方針です。

この側道の取り扱いについては、こと当市だけの問題ではなく、上越新幹線沿線二県の沿線市町村の共通の問題です。市では、これら市町村と連絡を保ち早期解決を図りたいと考えています。しかしながら、道路整備費に膨大な経費が見込まれますので、必要度を勘案しながら順次道路整備を行い、皆様の利用に供したいと考えていますので、いましばらくご辛抱いただきたいと思います。

（担当　都市計画課）

新幹線側道の早期開通を

問　新幹線開通までは、ぜひ、抜本的対策を練り、市民こぞって開通を喜びたく思います。上は開通、下々は通せんぼう、それこそ本当の見切り発車。その様なことのないよう切に要望します。

（女池、側道居士）

市は無償譲渡を要望

もうしばらくのご辛抱を

答　この側道は、鉄建公団および国鉄信濃川工事局が

母子・寡婦福祉年金のご利用を！

母子・寡婦家庭の方を対象とした母子福祉年金の貸付制度がありますので、ご利用下さい。対象は特に経済的に困難な事情のある方です。

修業資金　高校及び大学に修学させるために、必要な資金

就学支度資金　就学するために必要な被服等の購入に必要な資金

事業開始資金　事業を開始するために必要な設備費等

事業継続資金　現在営んでいる事業を継続するために必要な運転資金等

技能習得資金　自ら事業を開始し、または就職するために必要な知識、技能を習得するために必要な資金

就職支度資金　就職するために直接必要な被服を購入する資金

療養資金　負傷または疾病の療養に必要な資金

そのほかに、生活資金、住宅資金、転宅資金、結婚資金があります。

会費　大人も子供も一人三百五十円

共済期間　これからの加入は途中加入となりますので、加入の翌日から来年三月三十一日まで

見舞金　一等級百万円～九等級二万円

見舞金の請求　交通事故発生の日から一年以内

申し込み　市交通防災課、各地区事務所、連絡所、市内の銀行、農協などへ

詳しくは、市福祉課厚生係（☎28―1000）へ

シベリヤに抑留された皆さんへ！

全国抑留者補償協議会

全国戦後強制抑留補償要求推進協議会（関川信二県連合会会長）では、シベリヤに抑留された皆さんの実態調査を開始しました。未加入の方は、左記へ連絡するよう呼びかけています。

小山為雄（☎62―三二〇八）片山正治（☎45―一五八八）吉田忠（☎86―一六四二）へ

健康ワンポイントメモ

こんな事で子供を注射恐怖症にしてはいけません。予防注射会場では、何も悪い事をしないのに不当に注射されると思い、泣き、騒ぎ抵抗する子供がいます。注射は検査のためのものもあります、病気を予防し治療を目的とするものだ、という事をよく言い聞かせておき、決しておどしや冗談で言ってはいけません。本当に必要なとき、大きな障害となります。

近年は特に子供の治療にはなるべく注射をしないで必要最小限に止める風潮にあります。

必要な注射のとき、子供さんにも協力してもらうために、注射の正しい理由をよく教えておいてもらいたいものです。

（新潟市医師会）

ママの若返り教室（4月～7月）

今年度から鳥屋野教室が追加！

時間　午前10時～11時半
対象　市内在住の家庭婦人
持参品　運動のできる服装、運動靴
申し込み　各会場で各月の初日に受け付けます。直接会場へどうぞ
問い合わせ　西・東・中・内野教室は市体育課（☎67―1821）へ。鳥屋野教室は鳥屋野総合体育館（☎41―4600）へ
※幼児同伴はご遠慮下さい。一人一会場です。

	会場	月日
西教室	市体育館	4月15・22・30日、5月6・13・20・27(音楽文化会館)日、6月1・17・22日、7月1・15日
東教室	電電体育館(山木戸5)	4月13日から7月13日までの毎週火曜日
中教室	日本鋼管体育館(鏡町)	4月16日から7月16日までの毎週金曜日
内野教室	西地区公民館	4月15日から7月15日までの毎週木曜日
鳥屋野教室	鳥屋野総合体育館(神道寺)	5月4・14・18・25日、6月1・7・16・22・29日、7月6・9・13日

尺八教室会員募集

練習日　4月9日から毎週金曜日午後7時半～9時
会場　西地区公民館（内野町）
内容　尺八（琴古流）
講師　小林茂孝
経費　月1,500円
定員　10人
申し込み　西地区公民館（☎61―0031）へ

石山地区公民館案内

〈マイスペース（小展示場）の開設〉

公民館の一画を利用して、いつでも皆さんの作品等を発表・展示して頂くスペースを設けました。どうぞご活用下さい。

対象　石山地区に在住・在勤の個人およびグループ
展示内容　美術、工芸、手芸、その他趣味の作品、収集品
期間　10日間以内
申し込み　直接公民館へおいで下さい（6カ月前から受け付けます）

〈公民館事業企画委員募集！〉

公民館事業の企画をお手伝いしてくれる方を募集します。学びたいこと、関心のあることをあなた自身の手で企画し実現してみませんか

会合　4月27日～5月18日まで（計4回）
会場　石山地区公民館
募集人員　石山地区在住の方20人
活動内容　公民館の各種教室、講習会の企画立案
申し込み　4月15日までに電話で石山地区公民館（☎86―5631）へ

有明児童センター2周年記念行事

会場　有明児童センター
―なかよしなべ会―
日時　4月4日午前10時～
持参品　おにぎり、豚汁の具（切った物）
―映写会、ゲーム会―
日時　4月4日午後2時～
上映内容　「小さなバイキング」など

主任配管工の講習会と資格認定試験

申し込み・問い合わせ　いずれも4月14日までに市水道局工務第一課（☎66―9311）へ

〈講習会〉
日時　5月28日午前10時～午後4時
会場　長岡市
内容　学科
受講料　4,000円

〈資格認定試験〉
日時　6月5・6日午前10時～午後5時
試験場　新潟市内
試験科目　学科・実技
受験料　16,000円

ATC自主上映会

「赤ちょうちん」（藤田敏八監督）

日時　4月9日午後6時半～
会場　中央公民館
会費　500円
問い合わせ　電話で神部（☎84―7928）へ

新潟海洋少年団入団説明会

日時　4月11日午前10時～正午
会場　中央公民館3階302号室
対象　入団希望者（市内の小学校5年生）とその保護者（同伴のこと）
問い合わせ　松原（☎31―1618）へ

テレビを視て学習する北地区放送文化講座

―テレビ井戸端会議―

いろいろな番組を視聴しながら、子供の個性、塾と学校、体力、非行、自殺、暴力、どんな大人にしたいか、母親の行き方と将来の社会など、小・中学生時代の学校教育や家庭教育の望ましいあり方を考えます

期間　4月9日～58年3月25日の間、毎週金曜日午前10時～正午
会場　北地区公民館
対象　小・中学生をもつ母親20人
申し込み　北地区公民館（☎59―7330）へ

春の赤十字夜間救急教室

日時　4月14日～7月7日までの間毎週水曜日午後6時半～9時(5月5日は休み)
会場　日赤県支部（関屋下川原町1、西保健所隣り）
対象　市民30人（小・中学生を除く）
参加費　テキスト代550円
申し込み　電話で日赤県支部安全奉仕団分団事務局（☎31―3121）へ

油絵・水彩画講座

日時　毎月第2日曜日午前10時～午後3時
会場　中央公民館
内容　油絵と水彩のそれぞれ2コース
講師　会員
費用　500円
申し込み　直接会場へ